

政策調整会議の概要

開催日 令和4年7月14日(木)

◎項目

- 1 高知県職員520運動について【中山間振興・交通部】
- 2 高知県集落データ調査について【中山間振興・交通部】

◎内容

1 520運動について【中山間振興・交通部】

中山間振興・交通部より、520(ゴーニーマル)運動について配付資料に基づいて説明が行われた。(中山間振興・交通部)

本県では、毎月5日と20日は、マイカーやバイクでの通勤を控え、できる限り公共交通を利用して通勤する「高知県職員520運動」を実施している。現在、県内の公共交通事業者は、長引くコロナ禍に加え、昨今の燃油価格の高騰などの影響で、かつてないほどの厳しい経営環境が続いている。こうした公共交通事業者を応援するためにも県職員が積極的に公共交通を利用してもらいたい。今後、アンケート方式で520運動への参加実績の報告を求めるので協力をお願いする。

2 高知県集落データ調査について【中山間振興・交通部】

中山間振興・交通部より、高知県集落データ調査の結果について配付資料に基づいて説明が行われた。

(中山間振興・交通部)

調査の結果、県内の集落は過疎地域を中心に人口減少や高齢化が進行し、集落活動の維持が困難になるなど厳しい状況が続いている。こうした厳しい状況の中でも、人口が増加した集落もあり、産業振興計画や集落対策の一定の効果が表れてきている。今回の調査でそれぞれの集落の実態やデータを個別に把握することができたので、今後は中山間対策の3つの柱と8つの施策を軸にして、市町村と連携を図りながら地域の課題やニーズに応じたきめ細かな集落対策を進めていきたいと考えている。なお、今回の調査結果を各部に共有するので、今後の政策づくりなどに活用していただきたい。

○副知事

先日公表されたじゃらんリサーチセンターの宿泊旅行調査結果によると、本県は、「ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた」で33位から15位、「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」で28位から18位と大きくジャンプアップした。観光振興部がこれまでの施策に磨きをかけ、かつ民間の活力を活用した取り組みを行った成果が出て、とてもうれしく思う。各部局も観光振興部の取り組みを参考にしながら、強みは生かし、弱みは強みに変えていくということで、施策のバージョンアップをしてもらいたい。